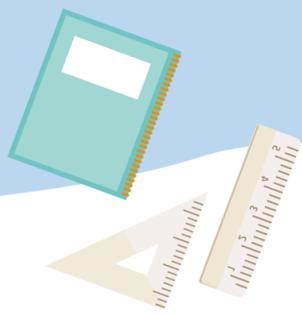
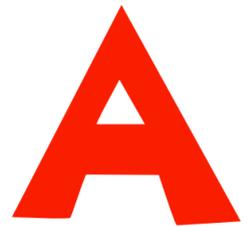


数学



質問箱



関数の意味理解

1年生

Q uestion

関数学習の初期段階の生徒に、関数とは何かを、どのようにつかませればよいでしょうか。

A nswer

日常生活に見られる具体的な事象の中には、複数の数量がお互いにある関係を保ちながら変化している場合があります。このように、お互いに一定の関係を保ちながら変化する量を、数学的に考察するために関数があります。つまり、関数は、事象の中のともなって変わる2つの数量の変化や対応を調べることを通して、変化の法則や変化の中の不変のものを明らかにし、それに基づいて、問題を処理したり、まだわからないことを予測したりするときに使われます。

関数の学習では、日常生活や社会の事象の中にあるともなって変わる2つの数量の変化や対応などの目に見えない関係を扱うので、表、式、グラフなどに表すことによって、目に見える対象にすることが大切になります。ここで注意したいのが、表、式、グラフは関数そのものではなく、関数を表現しているものであるということです。

関数は、関係する2つの数量の一方の値を決めれば、他方の値がただ1つに決まるような関係（一意対応）です。このことを把握するには、面積が一定の長方形の縦の長さや横の長さ、バケツに水を入れたときの水の量と深さなどのような具体的な事例について、事象を実際に観察する機会が大切になります。写真や絵を見せて想像させるだけではなく、具体的な事象を目の前で見せたり、実際につくらせたりして、その事象の中で変化している数量は何か、ともなって変わっている数量は何かを観察させる活動を取り入れるようにしましょう。このような活動を通して、比例、反比例は関数の一部であることや、関数の概念の広がりを実感できるようにするのではないかと思います。

＼ 学びがいっぱい！ ／

情報配信サービス

中学校 **エデュアル**